

議長（門脇 助雄君） ただいまの出席議員は15名であります。

休憩前に引き続き、会議を開きます。

一般質問を続けます。

13番、山本陽一郎君。

13番（山本 陽一郎君） 平成20年、今年もようやく暮れようとしております。この1年間を振り返って、時の早さに愕然とする思いではありますが、気を取り直して議論を進めたいと思います。

今回の私の質問は、いつものように行財政改革についてであります。あれからどうなった、これからどうする、この2つのテーマで質問を行いたいと思います。

町長、鐘・太鼓とまでは言わないんだけど、鳴り物入りで始められた産・学・業の共同による、企業、大学、そして東員町行政、これの共同による、最初はモチ米のくず米でしたね、これを利用して接着剤をつくらうと。そして販路については大手自動車メーカーを予定をしている。確かにそういうお話であったと思います。

そしてその時に、取らぬたぬきの皮算用までした。取り分の按分まで話題になりましたね。そこで途中でモチ米というのが消えて、日本人の主食であるうるち米を使って研究をしようということに変更になったと思います。そして早速、成果とは言わないんだろうけれども、花の苗を植えるポット、これを全協の場へお持ちいただいて、こういうものができましたというお話をいただきましたね。

そこで私ども議会では、この話はおかしいんじゃないですかと。今の世の中は中国製品があふれ返っている。安価にできる。そして、もともと接着剤というのは化学製品でつくるものだそうですね。決して自然食品でつくるものではない。昔はともかくですよ。今でもそうですが、のりがなかったら米粒をつぶして、のりがわりにしてますけれども、そういったことだと思います。

その後、この研究について近々特許を取らうと、そういうお話があります。確かに40万円ほどの予算を委員会で可決したはずですけども、その時でもいろんな議論がされた。

私は大体、この話は懐疑的であります。当初の予算を含めて大体500万円ぐらいだと思うんですけども、そんなことで、私ども東員町行政がこれに携わっていくというのはいかがなものか。全国ネットのJA、これが関与するならいざ知らず、そういったものに手を出すべきでない、こういう話をさせていただいたはずであります。その私どもの考えが、先見の明がなかったのか、町長はその後も続けるというお話でしたので、着々と研究成果が出てくるはずでありますので、その研究成果、それが今どのように上がってきておるのか、そして今後どのようにそれを生かしていくのか、その辺のところをお聞かせいただきたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） 農産物の共同研究開発事業についてのご質問に、お答

えをいたします。

以前にも同様のご質問をいただいたところでございますが、本研究の目的は、バイオマス利用を主眼とし、本町が提供できるモチ米、古松樹脂等の地域未利用資源を活用する新規樹脂材料の開発研究を行ったもので、平成17年8月から、予定の期間を延長し、翌年の6月まで筑波大学に調査研究を委託し、共同で事業を行ったところでございます。

また本研究には民間の企業からも賛同と、無償での支援をいただき、懸命に調査研究を行っていただきました。

しかしながら、その成果といたしましては、モチ米を利用した場合、残念ながら、分子構造の問題から工業原料としての樹脂材料化に至りませんでした。その後、町といたしましては、皆様のご理解がいただけないことから、追加費用をかけることなく現在に至っております。

しかし、大学側におきましては、「バイオマス総合戦略」に沿った研究でもあることから、もみ殻、ぬかななどの別の材料で独自に研究をいただいているようでありますので、必要に応じて、材料提供等町費を伴わない、側面的な支援を行ってまいりたい、そんな考えであります。

よろしくご理解のほどお願いを申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 13番、山本陽一郎君。

13番（山本 陽一郎君） 当初の見込みから外れて成果が得られないということで、これは撤退ということではよろしいね。そうでないなら反論してくださいね。撤退されるということ。

町長、お気をつけいただきたい。私ども議会が、これはおかしいんですよと、やめた方がいいですよとお話を申し上げた。それをしてやられた。住民の皆さんの貴重な税源、500万円をこのために費やしております。500万円という金額は、先の議会で承認をしましたがけれども、教育関連施設の値上げによる1年の増収分に値をします。そういう貴重な財源であるはずでありますので、今、町長が盛んに言われております、行財政改革をしなければいけない、7年後の東員町の高齢化率は27.4%ですよ。10年後には多分30%になると思いますけれども、そういった形の中で、みんなで改革をしていこう、議会もそれに呼応してやっていこう、そういう思いでありますので、お気をつけいただきたいと思いますので、その反省を込めて、町長のご意見を聞かせていただきたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

今現在、農業の置かれておる状況、何とかして農業のこれからの持っていく方、そんな中で米等を通じて何かできないか、そんな研究をとということで、当初は出発をさせていただきました。

やはり今、環境とかいろいろな中でバイオマスの研究、これは国が、特に農林水産省として一生懸命いまだにやってみえるのは現実でございます。そんな中で、東員町の米を通じた何らかの工業製品ができないかなということで、ほかの団体とも共同しながら模索をさせていただいた。

新しいものをつくっていくということでございますので、単年度でできないということで、私も反省をしております。やはり新しいものをつくっていく場合は、お金と年数がかかる。そういうことで反省もしておりますけど、単年度では中途半端になってしまった。それは申しわけないと思っております。

しかし、これからも当然、農業のいろいろのことで新しい工業製品も、先ほどのぬかとか、もみ殻とか、またわらも言われております。そんなものをバイオということで研究ができないか。これは国の政策としても最重要と考えておられます。

先月の28日にも、私は自民党の研究機関に、今、耕作放棄地がどんどんと進んでおる、そして農業が大変なことになってきておるということも、直接要望をさせていただきました。その場でも国は、バイオマスの研究はこれからも進めていくということで、いただいております。

確かに単年度でおしかりをいただくのはもっともだと思いますので、反省もさせていただいておりますけど、どうぞ農業について、これからもご支援をよろしくお願いを申し上げたいと思います。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 13番、山本陽一郎君。

13番（山本 陽一郎君） 農業政策の振興、これをしなければいけない。当然であります。国の食糧自給率は40%、世界の先進国の中で最低と言われております。

先の金曜日の同僚議員の一般質問も、多くはこの農業問題にふれております。私も当然そういう認識はさせていただいております。

行政は、言ってることとやっていることが一致しなければいけない。農業の振興を言いながら、東員町で最良の美田と言われております東員町駅の北側、ここを開発計画を立てて、やろうとされている。どうもつじつまが合わないのかな、こんな思いがしております。この件については、今後、委員会等を通じて議論がなされると思います。

今、安全で安心な食糧、これを確保していく、これが重大であるということは、私も町長と同じように認識を1つにしております。今後とも支援をさせていただきたいと思いますが、産・学・業による共同研究については一応撤退をする、そして側面の資材の提供等については協力をしていく、そういうことで理解をさせていただきたいと思います。

次にごみ問題について、東員町で、これまで多くの貢献をしてきた町の最終処分

場があります。ここが事情があって、用地取得という問題が出てきております。そしてこの用地については、民間業者の方もこれを手当をしていきたいという、そういうお話がありました。

私はこの問題については、いろんなこれまでのいきさつがあることは承知しております。長年使用させていただいた。そして、それを町で取得をしていただきたいという、そういう話もよくわかりますけれども、費用対効果、あるいは跡地利用の観点から見て、これは個人的に取得すべきではない、このように考えております。

最終処分場については、現在公共事業から出る残土等については入れませんというお話でした。そうすると、一般のご家庭からの例えば車庫を広げますよ、家屋を新しく建てかえますので、それのかわらだとか残土等について処分をします。そのために施設が必要というお話であります。これまでこの施設は無料で、町の予算で行ってきた。今はそういう時代ではない。やはり受益者負担を求めべきである。財政が厳しいという話ですから、住民の皆さんにきちっと説明をすれば、ご納得をいただける話だと思っております。

そして、そのお話をお聞きしますと、これについては大きな災害時のごみの集積場に使いたい、あるいはあそこに幅員1メートル、延べ300メートルの墓参道があります。これを利用する方々たちのために確保をしたいという話であったと思います。私も現場を見てきました。お年寄りには無理ですね。最初の入り口のところで、急な坂になっております。階段になっておりますけれども、とてもお年寄りには大変なんだろうというふうに思っております。

そこでお尋ねをします。それでは墓参道の確保のために、どれほどの方たちがここを利用されているのかどうか。当然、用地取得のための測量委託料がついているはずですから、それを含めて6,500万円の予算が計上されておりますが、それだけの高い買い物をするについて、把握をされているはずであります。

そして、これは議長を通じて総務部長に資料提供をしているはずですが、町に遊休地なるものがありますね。遊んでいる土地があるはずであります。それらはどこにあるのか。どれぐらいの規模であるのか。

私の知っているところでは、大木住宅の跡地ですね、あそこは更地にしましたので、ここはあるはずですがけれども、それと城山の野球場に隣接しているところで空き地がありますね。それと大きくは員弁川左岸、シルバー人材センターに隣接をするところで、2万平方メートル、6,500坪の空き地があるというお話を聞きました。

そうであるなら当然これらの遊休地を利用する、それの方がよほど効率がよいのではないか、このように私は考えておりますけれども、先ほど申し上げた墓参道についての利用者数、年間どれぐらいあるのか、そして今、同僚議員から遊休地の資料をいただきましたけれども、それらの詳しい場所等、これをお示しをいただきました

いのと、遊休地の有効活用をこれからどのように考えておられるのかを、お答えをいただきたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） 最終処分場に関しましてのご質問であります。このことにつきましては、これまで地権者の置かれた状況を踏まえ、現在私どもが借地していることに鑑みまして、用地確保について、全員協議会で経過等をご説明させていただいてまいりました。

そして、今議会の補正予算におきまして、その必要経費を計上させていただいておりますことから、結論的に申し上げて、最終処分場として借地している部分を含めまして、今後も土砂等の処分場と墓参道として、最小限度必要と考えております約4万平方メートルを取得しようとするものであります。

ここに至るまでに当該土地の管理者、いわゆる管財人において、当初は関連土地すべての売却の思いもございましたが、協議を重ねさせていただきながら、土地の鑑定評価に基づきまして、東員町の事情を説明しながら、全体面積9万6,000平方メートルのうち、必要とする部分を分割して取得するものでございます。

よろしくご理解のほど、お願いを申し上げます。

墓参道としての年間の利用者の数、また、東員町の遊休地といいますが、遊んでいる土地ということなんですけど、いろいろの利用の跡地、そのことにつきましては、担当の方からご報告を申し上げます。

以上です。

議長（門脇 助雄君） 松下忠生活福祉部長。

生活福祉部長（松下 忠君） 墓参道の通行される人員でございますけども、私が部長になってから調査したことがございませんので、手元に資料がございません。しかし、道路の現況を見ますと、草がぼうぼうでだれも通っていないということではございません。かなり踏まれた形跡がございまして、草がほとんど生えていないという状況でございます。ゼロではないということは確かでございますので、ご報告いたします。

議長（門脇 助雄君） 近藤洋総務部長。

総務部長（近藤 洋君） お答えをさせていただきます。

東員町内の遊休地につきましては、先ほど山本議員がおっしゃられたところでございます。今回資料請求ということで、私どもの方に書類等をいただいております。それにつきましては報告ですか、それに今用意しておりますので、ちょっと手元がございませんので、改めて、きちっとしたものをご報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 13番、山本陽一郎君。

13番（山本 陽一郎君） 同僚議員の資料によりますと、旧東員保育園の

跡地、ここにありますがね。これは六把野新田ということになっております。そして大木の奥山というところに山林が8,000平方メートルほどありますね。そして山田で畑として449平方メートル、大木の鳥居前というところで1,571平方メートルという資料がありますがけれども、先ほどの答弁になかったのですけれども、大災害時の集積地として確保をしたいというお話もありますね。

そして墓参道の確保。年間、何人使っているか、調査していません。ただ、通った形跡があります。イノシシが通ったかもしれません。そして散歩でお使いをいただいているかわかりませんね。そういうあやふやな答弁では審議ができない。

6,500万円ですよ。確固とした目的がない。町長、2期目です。民間業者にお願いをして、そして墓参道を使わせていただく。それぐらいの政治力があってしかるべき。お願いすれば、必ず貸していただけると私は思います。

そして大災害時、もしシルバー人材センターの隣地、2万平方メートルで手狭であるというなら、現在使っているところ、民間業者に取得していただいて、災害のときに特別にお願いしてお借りをする。できるはずであります。

最初から取得ありきであってはいけない。取得するには取得するだけのきちんとした戦略がなければならぬ。跡地利用も何もなし。家を建てた後、ほっておくのですか。森にして自然に返そうとするのか。それほど東員町の財政は、今後万々歳ではないはずであります。そうですね。7年後には27.4%でしたか、それだけの高齢化社会になる。そのために今、あらゆる面で行財政改革をしている。

そんな中で確固とした裏づけがない。そういったものに対して我々は、はいそうですかという立場ではない。ですから、もっときちんとした、跡地利用を含めて方向性をどう考えておられるのか、もう一度、答弁を求めたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

現在の利用は、住民の皆さんで家屋をいわれたときとか、造成されるとき、基本的に瓦れきとか、土砂とか、れんがとか、壁土とか、そういうものが出た場合に、そこへほっていただく、廃棄していただく。また、墓地等にお参りされるときに参っていただく参道。墓地が1,019区画あるのです。大半が墓地が建っております。大半の方が笹尾の皆さんでございます。その方たちがそこを通ってみえるのです。

そして特に大きな地震災害があったときに、廃材等が出た場合に、そこにほっていただく。穴であってもほれるわけなんです。一時仮置き場として利用していただけるのです。将来的には、そういう場合には県がきちとした施設をつくると。そこは有料ですよ。トン幾らで県が処分するのです。一時仮置き場は各市町でつくりなさいと。大きな災害があったときに、家屋等の倒壊があったときに、仮置き場は市町でつくりなさいと。そして最終的には県の施設へ持ち込む、そういう施設に利

用させてもらう。利用のことがきちっと出てますやないか。何に使うのか。現在そのように使わせてもらいますと。あとの、埋め立てて平地になったときは何十年後先でございますので、それはスポーツ施設であろうと、どんな形でも、そのときに決めていただければ使っていただけますやんか。4万平方メートルという土地は。だから私どもは、ここで買わせてもらいたいということで、補正予算を上程をさせていただきましたので、ご理解をいただきたいと思えます。

議長（門脇 助雄君） 13番、山本陽一郎君。

13番（山本 陽一郎君） 1,100区画墓地があるということは承知をしております。しかし、どれだけの方が利用しているかもわからないということですね。まず在来の皆様は、ほとんどないでしょう。そして団地の皆さんでも、あの急坂を登ってお墓参りをするのはえらいねということなら、当然車で行かれる。そこを歩いていくのと、公道を歩いていくのと、10分もかわらないでしょう。だから根拠が薄いと申し上げている。

そして、そこで災害があったときの集積場にしたいと。だからシルバー人材センターの隣地に2万平方メートルあるでしょう。これを利用できないのですか。利用したらいけないのですか。ほかに、先ほど申し上げた町の遊休地がありますね。いざとなれば、それも利用できるでしょう。城山の野球場の隣に相当広い土地がありますね。ここも利用できますね。

災害というのは、そんなものですよ。いつ来るかわからん。そうであるなら、どこだって、そういう場所を見つけて集積しなければいけない。当然ではないですか。

あくまで取得ありきのお考えではどうなんですかと申し上げます。そういうことをいろいろ検討する。そして、それでもなお、この用地を取得したいということであるなら、きちとした跡地利用を含めて、方向性を示してくださいと申し上げた。何十年後だからそんなことはわかりませんという答弁では納得いかないということでもあります。

この問題については、これからいくら議論してもかみ合わない、納得のいく話にはならない、このように思います。どうぞよくお考えの上で実行をしていただきたいと思えます。答弁は必要ありません。

終わりに英国のロマン派の詩人、シェリーの冬が来たのだから春が遠いということがあろうか、こういう詩の一節があります。私どもで言えば、冬来たりなば春遠からじ、こういったところであろうと思えますけれども、この国、この地域、そして我が東員町に、これから極めて厳しい冬の時代が訪れるやもしれません。大変な少子高齢化社会ということでもあります。しかし、やがて必ず来る春に備えて、この1年間、住民の皆様からいろいろご指摘をいただいた、ご批判をいただいた、ご提言もいただきましたので、それらのことを胸に刻んで、これからの議会活動に努めてまいりたい、このようにお誓いを申し上げて、私の一般質問を終わります。

以上であります。ありがとうございました。